



地域振興は人づくりから — 地方に根ざし、世界にはばたく新潟県立大学

University of Niigata Prefecture

2010.12
No. 4
新潟県立大学ニュース



Contents

学長室から	2
学部・学科のニュース	2・3
海外研修	3・4
外国語を学ぼう	4
教員の横顔	5
学生活動紹介	6・7
入試関連情報	8

学長あいさつ



新潟県立大学 学長
猪口 孝

日本経済を支える企業や社会で活躍する人材をいかに輩出していくかは、日本にとって重要な課題です。グローバル化が叫ばれて久しくなりますが、日本はいまだに鎖国時代の徳川モデルが生きています。つまり、日本の社会でしか通用しないことを学生に学ばせるので、日本の外では学んだことが通用せず、活躍できる人材がなかなか育てていないのが現状です。

日本人は英語を話す“体力”が足りません。まずその体力をつけ、さらに向上させる必要があります。また、英語だけではなく、日本語の「読み」「書き」「そろばん」の基礎能力を身につけさせる教育

や仕組みも非常に重要であると考えています。新潟県立大学では、こうした教育を実現するようなカリキュラムを考え、実施しています。

資源のない日本は、これまで技術革新でそれをカバーしてきました。日本の経済力を低下させないためには、アイデアをアクションに結びつけることが必要です。基礎的な能力を身につけ、英語を使うことができ、さらには北東アジア諸国の言語や歴史、文化等の知識を持って、地域の課題解決に取り組める人材、そして、もちろん海外で活躍する人材を育てるため、新潟県立大学は工夫と努力を続けていきます。

■ 新潟県立大学の基本理念

大学概要

○国際性の涵養

東アジアをはじめとする世界の人々との社会的・文化的交流を促進し、グローバルな視点からの教育研究を進めます。

○地域性の重視

郷土の自然・文化への理解をもって地域づくりや地域の共生を担う人材を育成し、地域社会に開かれた大学を目指します。

○人間性の涵養

豊かな人間性を培うために、学生一人ひとりに対してきめ細やかな教育を行い、学生同士が切磋琢磨し学び合う環境をつくります。

■ 学部・学科構成

国際地域学部	国際地域学科	入学定員160名
人間生活学部	子ども学科	入学定員 40名
	健康栄養学科	入学定員 40名

学長室から

FROM THE PRESIDENT

TOPIC

1 ASEANバロメーター



ASEANバロメーターの初年度の調査終了報告のため、7月30日に戦略国際問題研究センター(ジャカルタ)でセミナーを開催しました。その際、東アジア経済統合推進のため、政策の研究・提言を行う国際的機関である東アジア・ASEAN経済研究センターの西村事務総長と会談し、今後のASEANと日本の関係などについて話し合いました。また、スリン・ピツワンASEAN事務総長ともプロジェクトについて会談しました。

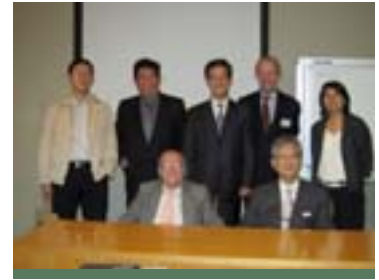
TOPIC

2 国際学術会議
日中韓「日本研究」シンポジウム

昨年度に引き続き、「国際学術会議 日中韓『日本研究』シンポジウム」(主催:日本研究サーベイ実行委員会(委員長 新潟県立大学学長 猪口 孝))を10月18日、東京大学山上会館で開催しました。日本、中国、韓国の日本研究の第一人者が参加し、日本の政治、経済、社会等の分野に関して活発な討論が行われました。発表内容等については、いずれ英文で刊行する予定です。

TOPIC

3 Conference of Political Parties and Democracy



10月20日、21日の2日間、東京大学山上会館でヨーロッパとアジアにおける民主主義と政党の衰退に関して、ヨーロッパとアジア諸国から研究者を招聘し、発表・討論が行われ、猪口学長が参加しました。参加者はいずれも欧米、アジアの、「社会学・政治学」では第一線で活躍している研究者の方々です。

学部・学科のニュース

開学2年目を迎え

NEWS FROM THE FACULTY

2 年 次

カリキュラム

国際地域学科

開学2年目を迎えた国際地域学部の2年次のカリキュラムをご紹介します。

まず特筆すべきは語学カリキュラムです。1年次のACEプログラムで英語コミュニケーションの基礎を学んだ学生は、Project Englishをはじめ、スキル別・内容別の英語クラスを選択して受講しています。また、英語教育とならんで力を入れているロシア・中

国・韓国など北東アジアの国の言語や文化についての教育が始まりました。ロシア・中国・韓国の3国の総領事館がある新潟で、隣国の言語や文化を学ぶのは当然のことといってもよいでしょう。1年後期の導入講義を受け、東アジアコースを選択した学生は自ら選んだ言語について外国語大学なみに週6コマ集中的に学習しています。うち2コマは入門時からネイティブスピーカー教員が指導します。既習者もその習熟度に応じて学習できます。一方、教養的に、しかししっかり学びたいという学生には週2コマのクラスもあります。なお、現在の東アジアコースの2年生の内訳は、ロシア語11名、中国語17名、韓国語22名です。

2年次の学部の展開科目(いわゆる専門科目)では、国際地域学・行政学・公共政策

論・人文地理学・多文化共生論などの学部共通科目に加え、国際社会、比較文化、東アジア、地域環境の4コースの特色あるコース科目が開講されています。2年前期に開講された各コースの基幹(共通)科目には次のようなものがありました。国際社会コース:国際関係論、国際経済学、国際開発論。比較文化コース:文化人類学、言語学、哲学・倫理学。東アジアコース:東アジア史、環日本海事情概論、ロシア史。地域環境コース:都市人間環境学、地球環境論。学部全体では240を超える展開科目が用意され、マルチメディア教材やe-ラーニング、フィールドワークを取り入れた授業、英語で講義する授業、英語文献を使う授業など、教員それぞれが工夫をこらした授業が展開されています。

学 外 実 習



● 子ども学科

子ども学科の特徴として学外実習があります。学内における講義や演習のほか現場での実習が組まれています。学内での学習を現場で実践し、実践での課題を学内に持ち帰り、学びを深めて再び実践に活かす、というように学習と実習を交互に連動する形で行い、より学びを深めようとするものです。今回は初めて実習を体験した、2年生の岩崎愛美さんの感想を紹介します。

【私は5月30日から6月4日までの5日間、新潟県立幼稚園で教育実習をさせていただきました。私にとって初めてのこたなので、不安な気持ちで一杯でしたが、実習までの間、毎日ピアノや歌、紙芝居の練習を行い、準備をしているうちに歌も紙芝居も少しずつ自分の目指すかたちになってきて、実習間際には早く子どもたちの前に立ちたいという気持ちになっていました。

実習では、ままごと遊びや歌、紙芝居などを体験しました。その中で特に印象に残っているのは、ままごと遊びです。最初先生から「子どもたちの中に入って遊んで」と言われ、「子どもたちの先生にならなきゃ!」と気張ってしまい、どうしたらよいかわからなくなりましたが、「もともと自分は遊びが好きなんだ

から自分も楽しんじゃえ!」と開き直った結果、その日の反省会で先生から「子どもの何気ない言葉を大切に、それに応じた遊びをしていたことがとても良かった。子どものやってみたいという気持ちを引き出せていて、見ていてすごいなと思った。」という言葉もらい本当に嬉しくなりました。保育者としての自覚を持つことも必要ですが、「自分らしくいる」ということも保育の現場では大切なことであると学びました。

この実習は大きな学びとなり財産となりました。そして更に保育者になりたいという気持ちが強くなりました。この実習で学んだ事を忘れずに、これからの大学生活、卒業後の人生へと繋げていけるよう努力していきたいです。】



調 理 学 実 験

● 健康栄養学科

「調理学実験」(2年後期)は管理栄養士課程における必修科目です。調理学は「技術と科学と食文化の融合」を目的とし、「おいしさ」を科学することです。調理科学の分野に含まれ、あたりまえのことと決まってしまう前に進めない学問です。関連科目の「調理学」(1年前期)を基礎として、「調理学実習I」(2年前期)で基礎的な調理方法を実践的に習得します。調理学は

食品学や栄養学などの基礎科学と関連する応用科学です。食べ物は複雑な成分の相互作用とそこに各種調理操作が加わって「おいしさ」を形成していますが、「おいしさ」の理由がわかってくると奥が深いです。「Why?」という疑問をもって実験で得られた結果やその理論を「調理学実習」や実際の食生活に応用することが大切です。

実験内容は、食べ物の物性(テクスチャーとレオロジー)に関連する炊飯、しん粉の吸水と団子、小麦粉とグルテン、膨化、生クリームの泡立て、砂糖の加熱による変化、卵液の加熱による凝固、ブラマンジェのテクスチャーと澱粉、スポンジケーキなどについてです。手でさわった触感や口の中で感じる「硬さ、歯ざわり」などの食感(テクス

チャー)は、サイコロロジー(精神物理学)という学問分野になりますが、調理学と密接な関係があります。日常生活でよく目にする食べ物ですが「なぜ、その配合割合でその調理方法で行うとおいしいのか?」「この奥に何が潜んでいるのか?」などの問題意識から、その理由について科学する能力を養い、発見が得られることを期待します。写真は、新潟のお土産品として有名な笹団子の「歯切れの良さ」を担うヨモギの役割について実験している様子ですが、笹の葉を上手に「すげ」で結んでいます。4名のグループ編成によるコミュニケーション能力と実践力を養います。健康栄養学科の学生は団結力があり、楽しく生き生きと実習や実験に取り組んでいます。

海外研修



STUDY ABROAD



》Hawaiian Experiences

"My host family is so kind." "Hawaiian food is delicious." "I learned a lot about English and about myself." These are just some of the comments from students who went on the study abroad trip. In August and September, 10 students from the University of Niigata Prefecture studied for 5 weeks at the University of Hawaii in Manoa. They discussed American social issues, studied English, and learned about Polynesian culture and the complicated history between Japan and Hawaii. And there was also a lot of fun. We went to the beautiful Hawaiian beaches, climbed Diamond Head Mountain and visited historical and cultural sites. And of course, there was shopping - lots of shopping. All of the students on the trip had a great time and they want to go back. Hawaii will always be their special memory.



》海外英語研修(オーストラリア)

8月31日から9月26日まで、オーストラリアのゴールドコーストにある、グリフィス大学付属語学学校で海外英語研修B(中期)を実施しました。語学学校は大きなショッピングセンターに隣接し、大小様々な船舶が浮かぶ大きな運河に面しています。参加した29名の学生は全員ホームステイで、バスや自転車で通学し、午前8時15分から午後1時45分まで、120分のクラスを二つ受講しました。学生達は、中国・韓国・リビア・コロンビアなどからの留学生と一緒に授業を受けるうちに、異文化コミュニケーションの楽しさを味わっていたようです。課外研修では、オーストラリアの環境保護の取組を見学し、ウォンバットなどの珍しい動物に触れることができました。

海外研修



》海外韓国語研修

韓国語研修では研修前に習得した韓国語を実際に使い、韓国の生活習慣や文化を実体験しました。本場の石焼ピビンバや焼肉など美味しい韓国料理を食べながら、韓国学生との交流も行ないました。最初は言葉の問題で不安もありましたが、何とか今まで身につけた韓国語や英語で会話ができ、韓国学生の日本語の実力にも驚いたようです。また語学研修では、午前9時から午後1時まで韓国外国語大学で韓国語授業を受け、その後グループ単位でソウル周辺を歩き回りながらショッピングしたり、歴史遺跡を見学したりしました。さらに韓国伝統楽器の体験を行うなど、現地の生活や異文化についてたくさん触れる機会となり、韓国についての理解を深める研修になりました。



》海外ロシア語研修

今年度の海外ロシア語研修は、2週間の中期研修と6日間の短期研修をどちらも Санкт・ペテルブルグで9月に行いました。中期研修では、ロシア人家庭でホームステイしながらロシア語教育機関で語学研修し、午後と休日は史跡や美術館を見学しました。街並みと多くの建造物が世界遺産に登録されているペテルブルグの街は、歩くだけでもロシアの歴史と文化を学ぶことができます。短期研修では、史跡研修のほかに、ロシア人学生との交流会を行いました。最近のロシアでは日本料理やアニメなど、日本文化への関心が高く、ロシア人学生たちとも共通の話題で話が盛り上がり、今後もメールなどのやり取りができそうな友人ができたのが何よりの収穫です。

「よく知らないままロシア語を始めてみたら — いつのまにかおもしろくなって、勉強を続けたくなり、ロシア留学にも行っちゃった。」「ロシアはちょっとコワイというイメージだったけれど — 実は、チェブラーシカみたいに可愛いものがたくさんあって、ロシアの人は案外ひとなつこい。」「ロシアと言えば、文学やクラシック音楽… — だけではなくて、アニメやポップミュージックなど、身近に楽しめるものもいっぱい。」「私はロシア語を勉強して初めてオペラやバレエ芸術に触れることができ、世界が広がった。」

これらは、新潟県立大学の前身・県立新潟女子短大でロシア語を学んだ学生たちの声です。ロシア語に限らず、外国語を学ぶと自分の世界が広がります。知識が増えるというだけでなく、言葉を通じて日本と異なる文化や世界観と出会うことによって、体験的に視野を広げることができるのです。その外国

語や国になじみが薄いと、その効果もより刺激的に感じられるのかもしれませんが。

ロシア語で使われている文字が、英語やドイツ語で使われている文字(ラテン文字といえます)と違うことはご存知だと思います。ロシア語の文字はキリル文字といって、ギリシャ文字を元にしてあります。ギリシャ文字は数学などの記号に使われていますね。例えば、円周率の π 。この π からロシア語の π 「ペー」の文字が作られました。このように、ロシアはヨーロッパと源流を共にしていますが、広大なユーラシア大陸を背景に、ヨーロッパ以外の諸民族と歴史的に深く関わっている点において、また、社会主義の大国を経験した点においても、ヨーロッパ文化の枠組だけでは捉えきれない奥深さを有しています。ロシア語を学ぶことは、日本人が慣れている欧米的視点とは異なる視点から、ヨーロッパや世界を見直す機会にもなるでしょう。

新潟県立大学では、自分の興味に合わ

せてロシア語を学ぶことができます。ロシア語に専門的に取り組みたい学生は、ロシア人教員の授業2コマを含む、週6コマの集中的カリキュラムで学べます。他の分野を専攻しながら、週2~4コマだけ学ぶこともできます。海外ロシア語研修プログラムも充実しています。メジャーでない外国語を学ぶ者同士で仲間意識が強くなるということもあります。短大生たちがつくったロシア料理同好会もその現れのひとつです。メンバーはロシア料理を楽しむために卒業後も時々集まり、情報交換の場にもなっています。



外国語を学ぼう

【ロシア語について】

教員の横顔

A PROFILE OF PROFESSORS

国際地域学部 国際地域学科

教授 高久由美

YUMI TAKAKU



幼い頃からコトバに興味を持っていて、今も、知らない言葉を聞くと耳をそばだててしまうくせがあります。

大学入学のため専攻を決めるとき、外国語のなかでも特に中国語を選んだのは、それまで勉強してきた英語とも、また日本語とも決定的に違った言語を学んでみたいと思ったからだったように思います。あえてもうひとつ言えば、中国語が日本語に与えた他にはない重要性から、中国語を研究しなければ日本語はわからない、と思ったこともあります。

学んでいくうちに、私は世界の諸言語のうちで中国語(漢語)だけに見られる特異な現象に気づきました。ふつう、言葉というものは音と意味とで構成されますが、言葉の中にそれを表す表意表音文字が入り込んでくるという、世界に例のない言語現象です。漢字を言語現象の中でどのように把握すべきか—私は、漢字学を自分の生涯の研究テーマにしてみよう、それが中国語の特異な構造を解く鍵になるのではないか、またそれを受容した日本文化そのものの本質的な解明に繋がることもあるのではないか、そんなことを考えております。

国際地域学部 国際地域学科

講師 鈴木 均

HITOSHI SUZUKI



(フィレンツェ市内、ドゥオモの頂上にて)

ヨーロッパ、と言うと、何を連想するでしょうか。サッカー、チーズ、ワイン、ブランド物の服や靴、車、卒業旅行(の思い出)など、様々だと思います。

ヨーロッパは、国際関係の世界では何をしているのでしょうか。国家同士が条約を結んで成り立つ現在の国際関係は、400年前にヨーロッパで成立したものでした。「生みの親」であるヨーロッパは今、新しい国際関係を築こうと努力しています。EU(欧州連合)による欧州統合です。経済資源を武力で奪い合う歴史に終止符を打ち、ヨーロッパを一つの経済圏(市場)とすることに成功したのです。2002年1月からは通貨も一つとなり、ユーロが流通し始めました。

一方でヨーロッパは、それぞれの国(および民族)の独立と、地方のアイデンティティーの尊重にも力を入れてきました。EUは地域政策や農業政策をとおして域内の格差是正と経済の活性化に努めつつ、合理化と国際競争力の向上を達成してきました。歴史を大切にしつつ、それを基盤に地域全体の成長を確保するやり方は、日本にとって、アジア諸国にとって、そして何よりも新潟にとって参考になる部分が多いと思います。

人間生活学部 子ども学科

講師 渋谷 崇行

TAKAYUKI SHIBUKURA



私の研究テーマでもある「ライフスキル」という言葉を聞いたことがありますか。ライフスキルとは日常生活で役立つ技能のことです。そこには受験勉強に役立つスキルも含まれます。たとえば、①志望校を定める(目標設定)、②合格のための学力を特定する(課題設定)、③課題達成のための学習計画を立てる(計画立案)、④それに沿って勉強する(実行)、⑤現況や模擬試験の結果をみて計画を修正する(評価)。これらは目標達成のスキルに含まれる要素であり、このプロセスを適切に辿ることによって確実に目標達成に向かうことができるといえます。

大学受験を控えた高校生の皆さんは、まさに目標達成のプロセスに身をまわっています。そこで私から1つアドバイスをさせて下さい。それは「魅力的な目標を設定する」ということです。自分の将来や興味・関心と関係があることを学べ、そうした能力を存分に高めることができる大学を志望することが大切です。そして、志望大学に入学した後の生活やそこの授業で身についた高い専門的能力をイメージして下さい。そこに生き生きとしたあなたの姿が思い描けるのであれば、それは険しい受験勉強をやり遂げる大きな原動力となるはずですよ。

人間生活学部 健康栄養学科

教授 宮西 邦夫

KUNIO MIYANISHI



AfricaのZambia国、JICA Primary Health Care TeamとLusaka Urban Health Management Team(LUDHMT)における公衆衛生学の短期専門家として出張した際に自問した、「どうすれば一人でも多くの人々が、天寿を全うできるのか」を問い続けています。

7、8人の子どもを産む現状に対し、現地のLUDHMTの専門家に、「尊い生命を維持するための食糧確保が不十分であるにも拘わらず、何故、家族計画を徹底しないのか?」と問うた。「子どもは天恵、乳児死亡率が高いので、自然に任せる他ない」、女の子は12歳になれば家を出るという不文律、男の子は成長すれば稼ぐ・・・何という考え方なのかと呆れたが、それ以上の議論は語学力の乏しさで中断した。言いたかったのは、「先進国であれ途上国であれ、最も大切なのは自助努力self-helpではないのか」であった。

本学学生の自助努力に期待したい、与えられることだけを理解して済ませる事無いよう、「自ら考え、苦しみ、悩み、創意工夫し、活路を見出す・・・自助」を期待したい。世界の公衆衛生、新潟県の保健医療、人間生活学概論、健康長寿の科学、公衆衛生学総論、同各論、疫学を担当しています。

学生生活動紹介



学園祭開催

学生自治会会長 大内 彩也夏

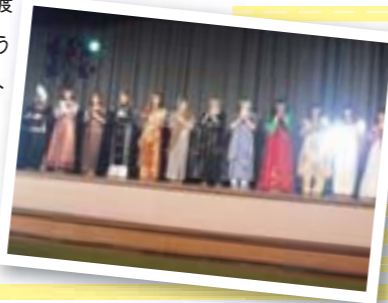
10月30日(土)、31日(日)に、県立大学として初めての学園祭、「連花祭 第一輪」が開催されました。学生自治会が主催で、学生たちが協力して取り組んできました。今年、「地域と楽しむ」をテーマにして、模擬店やステージイベントだけでなく、クイズ大会や大学紹介など地域のみならず楽しむことができる企画を考えました。地域の子どもたちも多く参加し、来場者は1000人を超えていました。初めての学園祭で、戸惑いも多く、不備な面もありましたが、回数を重ね、地域の大学としてよりよいものにしていきたいと思っています。これからもご期待ください。



国際ボランティアサークル NicolovE (ニコルブ)

国際地域学科2年 皆川 真理恵 (サークル長)

私達ニコルブは、県短の時代から受け継いできたボランティアサークルです。海岸清掃や文化祭でのリユース食器の促進等の環境保全活動や、国際協力・交流に関するチャリティーイベントやワークショップへの参加など、私達がやることは多岐に渡ります。今年の文化祭では、Sabadee cafeというラオスカフェを開き、ラオス織物で作られたフェアトレード商品を買ったり、世界の民族衣装のファッションショーを行ったりしました。いつも楽しくボランティアできることをモットーに活動しています♪



国際交流インストラクター



国際地域学科2年 上之山 和美

国際交流インストラクターは県国際交流協会との協働事業で、県内の小中高で児童・生徒の討論や体験を重視するワークショップ(WS)を行います。

今年度前期は、「異文化理解」「子供兵」「途上国の教育」をテーマとした3グループが11のWSを実施しました。私が参加した葛塚中での異文化理解WSでは、児童が外国人との付き合い方についてとても真剣に考えていたのが印象的で、日本にいる外国人のためにできる自分たちなりの一歩を一人一人が見つけていました。その一歩が、今後異文化を理解していくきっかけになってくれたらと思います。

テルテルボーイズです。

子ども学科2年 中川 佑果 (テルテルボーイズ代表)

テルテルボーイズは、ボランティアサークルで、主に新潟県立新潟養護学校に通う障がいのある子どもたちとレクリエーションなどを通して遊ぶ活動をしています。メンバーは、子ども学科の学生をはじめ、全学科の学生が所属しており、学科を超えての交流もできます。また、新潟医療福祉大学のボランティアサークルと合同での企画、活動をしているので、他大学の学生ともたくさん交流ができます。私は、いつもみんなの笑顔が見ることができて、とても楽しく幸せな時間の過ごせるこのサークルが大好きです。大学生活の中で、この活動に出会えて本当に良かったです!



国際機関でのインターンシップ

国際地域学科2年 弭間 陽

私は、8月22日から9月17日の4週間、大阪の地球環境センター(GEC)でインターンシップをしてきました。インターンシップは主に国連環境計画(UNEP)とGECの事業報告書の日本語訳の作成や、中南米対象の青年研修に同行し、講義を聞いたり施設見学をするなどの活動が中心でした。期間中にはJICA大阪や滋賀の琵琶湖博物館を訪問することもできました。インターンシップを通して、日本の環境政策がどのように行われているのか、またUNEPの事業を身近で見て学ぶことができました。研修を通して新たに学んだことがたくさんあるので、これからも環境について学んでいこうと思っています。



向ヶ丘保育園でのお楽しみコンサート

9月15日に村上市立向ヶ丘保育園で、子ども学科2年生の希望者16名がお楽しみコンサートを開きました。0歳から6歳までの園児約140人の前で歌を歌い、園児と一緒に楽器を演奏し、音楽に合わせて身体を動かして、学生も子どもたちも生き生きとしていました。そして、会終了後は0~5歳児クラスの各組に入り、園児と一緒に遊び、給食を食べて(保育園が16人分用意してくれました)、楽しい時間を過ごしました。「充実感があった」「またやりたい」「楽しかった」など言いながら、学生たちはそれぞれとても良い表情をしていました。

新潟県立大学 青年赤十字奉仕団

子ども学科2年 宮嶋 知絵

こんにちは!新潟県立大学青年赤十字奉仕団です。私たちの活動は学外が中心で、ボランティアとして様々なイベントに参加し、赤十字のPRや献血の呼び掛けをしたりしています。また、毎年全国で行われる「全国学生献血クリスマスキャンペーン」の企画・運営にも携わり、会議を通じて他県の学生と交流を深めています。その他、青年奉仕団の研修にも積極的に参加し、知識や技術の向上に努めています。奉仕活動はとてもやりがいがあり、学ぶことも多いです。現在団員数は少ないですが、みんなで仲良く楽しく活動しています♪皆さんも私たちと一緒に楽しく活動してみませんか☆



サークルロールケーキ

健康栄養学科2年 秋山真澄、木村芽衣、草間千陽
健康栄養学科では、今年の夏から秋にかけてサークルKとコラボした「新潟県産米粉のかぼちゃロール」の開発を行いました!1・2年生が商品のアイデアを出し合い、サークルKのスタッフ方に協力していただきオリジナルロールケーキを完成させることができました。秋の食材であるかぼちゃとさつまいもを使用したところと新潟の食材である米粉を使用したところがポイントです☆このロールケーキは、県内のサークルKで2週間限定で販売されました。今回の企画のような、大学と産業が連携して地域を盛り上げる活動をこれからもっと増やしていけたら良いと思います。



ラオスクールプロジェクト

国際地域学科2年 宗村 英里佳

私はラオスに学校を建てようというラオスクールプロジェクトに参加しています。今年の年末には私を含めて県立大から5名がラオスに行きます。実際に自分たちの目で現地を見て、現地で本当に必要とされていることを確認し、また教材開発プログラムとして、手作りの算数カード、文字カード、紙芝居を持っていき、楽しく学ぶことを伝えられたら、と思います。紙芝居は文化祭で地域の子どもたちに色塗りを手伝ってもらった想いのこもった紙芝居です。学校というハコを建てるだけの自己満足なボランティアではなく、地域のみならず巻き込んでラオスに笑顔届けられる活動になっていけばいいな、と思います。

入試関連情報

独自の日程による入試形態により、多様な選択肢からの受験が可能

一般
選抜

個性豊かで多様性に富む学生を受け入れるため、本学独自の日程による3回の一般選抜を実施します。大学入試センター試験を幅広く活用するとともに、センター試験とは異なる能力・適性をみるための個別学力検査等を合わせて実施します。なお、本学は他の国公立大学とは異なる独自の日程(A日程、B日程、C日程)で個別学力検査等を実施します。これにより、本学のA日程試験、B日程試験、C日程試験と他の国公立大学の前期日程、後期日程及び他の公立大学の中期日程を併せてすべて受験することが可能となります。

平成23年度(2011年度)入学者選抜試験スケジュール

新潟県立大学			2011年 (平成23)	他の国公立大学	
A日程	B日程	C日程		前期日程	中・後期日程
大学入試センター試験1月15日(土)、16日(日)					
出願受付1/11(火)~21(金)	出願受付1/24(月)~2/3(木)		1月下旬	2次試験出願受付1/24(月)~2/2(火)	
試験日2/6(日)			2月上旬		
合格発表 2/16(水)			中旬		
入学手続 2/17(木)~23(水)	試験日2/20(日)	出願受付2/21(月)~3/2(水)	下旬	前期日程試験2/25(金)~	
	合格発表 3/2(水)		3月上旬	合格発表3/1(火)~10(水)	中期日程試験3/8(火)以降
	入学手続 3/3(木)~11(金)	試験日3/14(月)	中旬	入学手続締切3/15(火)	後期日程試験3/12(土)以降
		合格発表 3/20(日)	下旬		合格発表 3/20(日)~23(水)
		入学手続 3/22(火)~26(土)			入学手続締切 3/27(日)

大学案内請求先

▶▶ テレメールで請求する場合

▶▶ インターネット(携帯電話・パソコン)の場合

<http://telemail.jp>

※パソコン、携帯電話各社共通アドレスです。

▶▶ 2次元バーコードの場合

※携帯電話で2次元バーコードを読み取り
アクセスした場合は、資料請求番号の入力は不要です。



▶▶ 自動音声対応電話をご利用の場合

IP電話 050-8601-0101

※一般電話回線からの通話料は日本全国一律、約11円/3分です。

●テレメールについてのお問い合わせ先(テレメールカスタマーセンター)

TEL.050-8601-0102(9:30~18:00)

▶▶ モバっちょで請求する場合

▶▶ インターネット
(携帯電話・パソコン)の場合

<http://djc-mb.jp>

▶▶ 2次元バーコード
の場合



モバっちょについてのお問い合わせ先

〈モバっちょ カスタマーセンター〉

IP電話 050-3540-5005(受付時間:平日9:00~17:00)

▶▶ 郵送で本学へ直接請求する場合

資料を請求する際は、上記記載の資料名と送料を参考の上、本学宛ての封筒に請求する資料名と必要な郵便料金分の切手を貼った返信用封筒(角2号)を同封の上、右記宛てに郵送ください。

新潟県立大学 入試課
〒950-8680
新潟市東区海老ヶ瀬471番地

TOPICS



煉瓦色の外壁がシックな雰囲気を醸し出す1号館に連結した“増築棟”が完成し、12月中の竣工を予定しています。この4階建の増築棟は、総面積3,065.5㎡で1、2階は主に自習室やSALC(セルフ・アクセス・センター)、キャリア支援センター、国際交流センター等の学生用の施設を配置し、3、4階には主に教員研究室等を設けています。本学の教育、研究を充実させる新たな施設として、また、地域の皆様方との交流の場として活用していきたいと考えています。

編集
後記

表紙の写真や本編の写真をご覧いただければ一目瞭然ですが、新潟県立大学は男子学生も多数在学する共学の大学です。しかしながら、開学から1年8か月以上が経過した現在でも、県短のイメージが強いのが「女子大学ですよね。」「男子学生がいるんですね。」という声をよく耳にします。そんなとき、まだまだ広報活動が不十分だと痛感させられます。ニュースレターでは、大学の取組みや学生の活動など情報を積極的に発信しますので、少しでも新潟県立大学のことを知っていただければ幸いです。

連絡先

新潟県立大学

〒950-8680
新潟市東区海老ヶ瀬471番地
TEL:025-270-1300
FAX:025-270-5173
E-mail:unp@unii.ac.jp

新潟県立大学 東京サテライト

〒113-0024
東京都文京区西片1丁目17番8号 KSビル9階
TEL:03-5803-6955
FAX:03-5803-6971
E-mail:unptokyo@unii.ac.jp